

成美だより



サン
3シャイン (3つの輝き)

子どもが輝く 教職員が輝く 保護者/地域が輝く

津市立成美小学校

2020年 1月

文責: 校長 田中 有子

R元年度教育活動アンケート調査の結果について

昨年末にご協力いただきました「教育活動に関するアンケート」の結果が集約できましたのでご報告します。子どもや保護者のみなさまからいただいたアンケートの結果を活かして、次年度の学校教育の改善に役立てていきたいと思っています。ありがとうございます。今後とも本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしくお願い致します。

☆ 児童アンケート

設問	そう思う	ややそう思う	プラス評価	H30比較	
① 楽しく学校生活を過ごしている。	70.1	22.2	92.3	-1.9	
② 進んで調べたり、発表したりして、学習することができる。	35.9	40.0	75.9	6.0	↑
③ 友だちや先生・地域の人にすすんであいさつをしている。	50.8	36.9	87.7	3.2	
④ マナーやきまりを守り、人にめいわくをかけないようにしている。	48.7	38.5	87.2	-2.6	
⑤ 友だちの気持ちを考え、こまっているときには、声をかけたり、何か行動したりしている。	48.7	37.4	86.2	-1.7	
⑥ たてわり活動・児童会活動など、さまざまな場で友だちとふれ合うことができている。	57.4	27.7	85.1	2.1	
⑦ 校内で安全に気をつけて生活している。	53.8	39.0	92.8	4.5	↑
⑧ 自分や友だち、身近な生物などの命を大切にしている。	72.3	20.5	92.8	0.1	
⑨ 困ったときに、だれか(家族・友だち・先生など)に相談している。	50.8	28.7	79.5	2.8	
⑩ 地域へ出かけたり、いろいろな人たちと出会ったりする機会が多い。	32.3	42.1	74.4	5.9	↑

「プラス評価」(そう思う+ややそう思う)が、(%)
《5ポイント前後上がった↑》 《5ポイント前後下がった↓》

★ 「進んであいさつしていますか」

元気にあいさつ



児童アンケートの結果は87.7%という高評価ですが、保護者アンケートの結果は、67.5%と大きく差が開いています。昨年後も同様の傾向でした。声を返すことはできても自分からは…という様子が多いようです。「挨拶」はコミュニケーションとして肝心の、最初の第一歩です。学校だけでなく家族や地域の皆さんとしっかり顔を合わせて、すすんであいさつをすることができるよう、家庭・地域と連携して引き続き「あいさつ運動」に取り組んでいきたいと考えます。

☆ 保護者アンケート

設問	そう 思う	やや そう 思う	プラス 評価	H30 比較	
① 子どもは楽しく学校生活を過ごしている。	70.5	27.8	98.3	3.3	
② 子どもは自分から進んで学習している。	23.6	46.8	70.5	-1.2	
③ 子どもは、出会った人にすすんであいさつをしている。	23.2	44.3	67.5	2.6	
④ 子どもは社会生活の基本となる生活態度やマナー、ルールなどを身につけている。	24.5	64.6	89.0	3.0	
⑤ 子どもは、友だちの気持ちを考えたり、やさしく接したりしている。	43.0	51.1	94.1	0.9	
⑥ 学校は、さまざまな場を通して仲間を大切にする気持ちを育んでいる。	56.5	40.5	97.0	3.5	↑
⑦ 子どもは、自分や友だち、身近な生物などの命を大切にしている。	59.5	37.1	96.6	1.3	
⑧ 学校は、体力向上や安全指導に取り組んでいる。	40.9	51.9	92.8	2.9	
⑨ 学校は、基礎基本の学力向上のための授業や家庭学習などに取り組んでいる。	44.3	48.9	93.2	0.1	
⑩ 学校は、たよりやホームページ、授業や行事の参観を通して、学校の取り組みや様子をよく知らせている。	43.5	43.9	87.3	-2.6	
⑪ 学校は、子どもの思い、保護者や地域の願いに応えている。	28.3	59.9	88.2	1.8	
⑫ 校外学習や地域の人たちなどいろいろな人と出会う機会を持ち、地域との関わりをもった教育を進めている。	47.7	44.3	92.0	2.0	

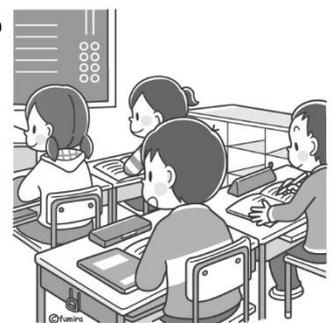
「プラス評価」（[↑]そう思う+ややそう思う）が、(%)
 《5ポイント前後上がった[↑]》 《5ポイント前後下がった[↓]》

★「地域学習・出会い学習」

各学年の児童の実態や学習内容に応じて、計画的な実施方法を検討しながら、人との出会い・地域との関わりを大切にした教育を今後も継続して進めていきたいと考えています。

★「進んで学習しますか」「進んで調べたり、発表しますか」

保護者アンケートのプラス評価は昨年度より下がって70.5%という結果となりましたが、児童アンケートではプラス評価が大きく伸びました。学校では朝の10分間学習(みのりの時間)を計画的に活用し、既習内容の定着と読解力・書く力の向上に役立てたり、少人数指導を継続的に行っています。今後も指導の工夫・改善をし、「個に応じた、よくわかる授業」づくりに努めることにより、自主的・自発的な学びの習得に関して、子どもたちが意欲的に学習に取り組めるようになっていきたいと考えています。



また、家庭での学習時間の確保が課題となっています。子どもたちが宿題等にすすんで取り組み、家庭学習を習慣化するためには、学校と家庭が連携した継続的な指導をすることが大切です。ご協力をよろしくお願いいたします。